

# 平成 30 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和元年 5 月

会津若松市（福島県）

## ○計画期間：平成 27 年 7 月～令和 2 年 3 月（4 年 9 月）

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 平成 30 年度終了時点（平成 31 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成 27 年 7 月以降、認定基本計画に基づき、「城下町回廊の賑わい」～まちなかの生活の場・交流の場づくりによる、賑わいのあふれる、歩いて暮らせるまちづくり～の基本理念のもと、官民が連携し各種事業を実施している。

認定基本計画に位置付けた事業の進捗状況は、全 58 事業（再掲を除く。）のうち 9 事業が完了、48 事業が実施中、1 事業が未着手となっている。

計画 4 年目となる平成 30 年度は、中心商店街である神明通り商店街のアーケードや七日町通り下の区の電線類地中化等をはじめ、大町通りの歩道美装化工事等も順調に進むなど、住民や観光客にとって、安全安心にまち歩きを楽しむ環境などが着実に整ってきている。

更には、本計画の目標達成に向けて、中心市街地活性化協議会を中心に、「歩いて暮らせるまちづくり強化プロジェクト」として、住民等の交流促進やまちなかの情報発信等を積極的に行う「まちなかコミュニティ拠点（塩蔵 2924）の整備事業」、空き店舗の活用を一層進めるため広告宣伝費なども支援対象とした「創業応援事業」、「公共交通機関の利用促進事業」を実施するとともに、それらを継続的に行う体制づくりも行ってきた。また、健康をテーマとし、商店街を活性化する取組や戊辰 150 周年を記念した数多くの取組など、まちなかへの関心や来街を高める事業も数多く行われてきた。

その効果として、3つの目標指数の最新値は昨年度よりも良好な結果を得られたところであるが、依然、「歩行者通行量」と「活動拠点施設利用者数」の2つの指標においては、目標達成まで届いていない。その要因として、中心市街地も含めた市全体の人口減少が進んでいることや商業施設改修整備事業の未着手、また、長く空き店舗となったままの物件の活用が進まないことや老舗店の閉店もあり、まちなかの印象改善まで至っていないことなどが考えられる。

このような中、計画最終年度となる令和元年度には、中心市街地エリア内に ICT 関連企業を集積するオフィスが 4 月に開所し、また、神明通り商店街内にはチャレンジショップ機能等を備えたコミュニティ拠点が 6 月に完成するほか、七日町通りにはインバウンド向けのゲストハウスなどの整備も予定されており、居住者や転入者の増加を含め、新たな人の流れや雇用の場が創出されるなど、各目標値への効果が期待される。また、駅前整備や市役所の建替えなど、新たな事業計画も立ち上がり、中心市街地の活性化に向け、官民含め新たな動きが出てきている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度1月1日)

| (中心市街地<br>区域) | 平成26年度<br>(計画前年度) | 平成27年度<br>(1年目) | 平成28年度<br>(2年目) | 平成29年度<br>(3年目) | 平成30年度<br>(4年目) | 令和元年度<br>(5年目) |
|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 人口            | 10,612人           | 10,535人         | 10,292人         | 10,182人         | 10,089人         | —              |
| 人口増減数         | ▲299人             | ▲77人            | ▲243人           | ▲110人           | ▲93人            | —              |
| 自然増減数         | ▲71人              | ▲84人            | ▲106人           | ▲106人           | ▲95人            | —              |
| 社会増減数         | 11人               | ▲53人            | ▲63人            | 4人              | ▲91人            | —              |
| 転入者数          | 426人              | 416人            | 373人            | 388人            | 392人            | —              |

※人口は、住民基本台帳の該当年度内の1月1日を基準日としている。

(平成30年度の基準日は、平成31年1月1日)

※人口・自然・社会増減数、転入者数は、当該年度内の基準日までの1年間の増減数を掲載。

(平成30年度であれば、平成30年1月1日から12月31日まで)

**2. 平成30年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

平成30年度の取組において、「新規出店者数」については様々な取組の成果もあり、伸びが発現しており、順調に進捗していることが示された。

一方で「歩行者通行量」及び「活動拠点施設利用者数」は、目標達成に寄与する効果が発現してはいないが、その要因も示されている。まちなかの新たな拠点や観光施設等が整備されるなど、今後の各種事業の進展により、新たな人の流れと交流人口拡大による賑わいの創出が見込まれ、目標達成に向けた取組について、当協議会としても同意見である。

大型商業施設の改修については、実施主体である民間事業者との意見調整を行うなど、支援の継続を要望する。

また、まちなか公共交通の在り方についても、適宜必要な調査の実施と分析報告を求める。

農林水産資源や歴史・文化・風土といった、特徴ある地域資源を活かした魅力あるまちづくりに向け、関係機関との連携を一層深め、さらには、市民協働の視点を取り入れた一体的な事業推進を図ることが必要であると考えます。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

| 目標                     | 目標指標                   | 基準値                      | 目標値                      | 最新値                      | 基準値からの改善状況 | 前回の見通し | 今回の見通し |
|------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------------|--------|--------|
| 1. 商機能の向上              | 新規出店者数<br>(過去5年平均)     | 8.8 件<br>(H26)           | 13.6 件<br>(R 元)          | 15.0 件<br>(H30)          | A          | ①      | ①      |
| 2. 交流人口の拡大             | 歩行者通行量<br>(平日と休日の加重平均) | 26,151 人/<br>日<br>(H26)  | 27,675 人/<br>日<br>(R 元)  | 24,205 人/<br>日<br>(H30)  | C          | ②      | ②      |
| 3. まちなかにおける市民による活動量の増加 | 活動拠点施設利用者数             | 512,179 人/<br>年<br>(H24) | 530,233 人<br>/年<br>(R 元) | 489,133 人<br>/年<br>(H30) | C          | ②      | ②      |

#### <基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### (1) 商機能の向上について

本年度は、「歩いて暮らせるまちづくり強化プロジェクト」事業も含め、創業支援に対して力を入れて取り組んできたことにより、効果が発現している。

今後も引き続き、「空き店舗対策事業」や「創業支援事業」等による新規出店が期待され、目標達成は可能と見込まれる。

#### (2) 交流人口の拡大について

まちを歩くことを通した健康づくり事業、コミュニティ施設整備事業等の実施による「人の流れ」をつくり出す取組や、店舗ファサードの改修、板塀、のれん、ライトアップなどにより、通りと店舗の連続性を持たせる景観づくり事業、各種イベント、まちゼミ等による、「まちなかと個店の魅力向上」を図る様々な取組も継続しているものの、目標値に大きく寄与する「商業施設改修整備事業」が未着手となっているなど、目標達成が難しい状況にある。

#### (3) まちなかにおける市民による活動量の増加について

市民活動等に寄与するコミュニティ拠点は増え、その利用者数も徐々に伸びてきている。しかし、既存公共施設の利用者数について、利用が一定程度落ち着いてきたことや人口減少などにより、推計値と大きな差があり、目標達成は厳しい状況にある。

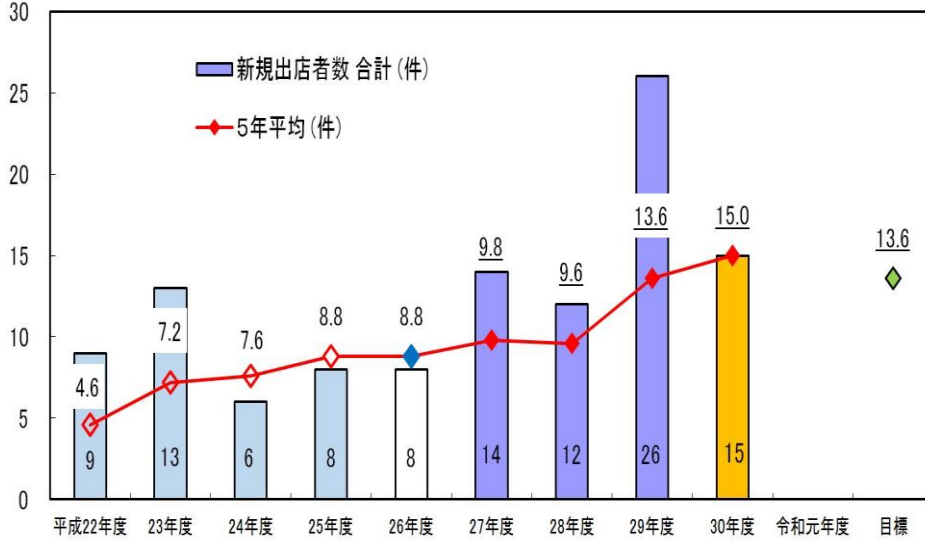
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更はない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規出店者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

##### ●調査結果の推移



| 年   | (件)           |
|-----|---------------|
| H26 | 8.8<br>(基準年値) |
| H27 | 9.8           |
| H28 | 9.6           |
| H29 | 13.6          |
| H30 | 15.0          |
| R元  | 13.6<br>(目標値) |

※調査方法：毎年度3月末日時点での数値を関係機関等に照会

※調査月：平成31年4月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：中心市街地内への新規出店者数

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ① 会津版家守事業（まちづくり会社、民間事業者等）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成27年度～【実施中】   |
| 事業概要          | エリア内の歴史的建造物や、まちに眠っている遊休不動産（空き家・空き店舗）を活用し、エリア価値の向上を図る。遊休不動産のみならず、道路や公園という公共空間も含めたトータルマネジメントを通して、個々の空間・不動産の枠を超えたエリア全体での再生を目指す。                               |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし   |
| 事業効果及び進捗状況    | 空き地・空き家の問題解決手法の一つとして、良好なまちなかの環境づくりや地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取組であるエリアマネジメントについて、研修や視察を通し意識醸成等を図ったが、本事業による効果は発現していない。<br>(新規出店者数：直近効果値「0」／目標値「5」件) |
| 事業の今後について     | 遊休不動産の情報収集・発信や活用策の検討、地権者と事業主体とのマッチングを促進する仕組みづくりなどを行う。  |

② 創業支援事業（会津若松市、NPO法人、民間事業者）

|               |   |
|---------------|---|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】  |
| 事業概要          | 市が民間事業者と連携し、新規創業支援を行うことで、地域の開業率を引き上げるとともに、魅力的な店舗の集積を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし  |
| 事業効果及び進捗状況    | 平成 30 年度新規創業者数約 40 件のうち、中心市街地新規出店者数は 4 件だった。（他事業との重複分除く。）本計画認定後、中心市街地内で計「20」件が新規出店している。<br>（新規出店者数：直近効果値「20」／目標値「5」件） |
| 事業の今後について     | 引き続き、他関係機関との連携を通じた創業支援を行い、中心市街地における新規出店者数の増加を促進する。  |

③ 商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備事業  
（エターナルブライダル株式会社）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 29 年度【未】  |
| 事業概要          | 空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗（約 10 件）の再誘致を進め、施設の魅力向上による訴求力を高めるとともに、隣接する神明通り商店街との「2 核 1 モール構想」により、回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし<br>[認定基本計画：中心市街地再興戦略事業費補助金（先導的・実証的事業）（経済産業省）（平成 29 年度）]   |
| 事業効果及び進捗状況    | 施設利用者向けの駐車場確保を行うなど、事業環境の整備を行った。しかし、施設本体改修に向けては、空きフロアの活用について、事業の採算性を含めた検討や企業等へのアプローチを行ってきたが進展はなかった。<br>本事業の効果として、出店者数の増加を「10 件」、歩行者通行量の増加を「2,660 人/日」と見込んでいるが、現状は、いずれも効果は発現していない。<br>（新規出店者数：直近効果値「0」／目標値「10」件）<br>（歩行者通行量：直近効果値「0」／目標値「+2,660」人・日） |
| 事業の今後について     | 事業の採算性も含め、有効活用に向けた検討を続けていることから、関係機関と連携し、事業実施に向けた支援を継続する。   |

④ 神明通り商店街一体的整備構想事業（神明通り商店街振興組合）

|        |   |
|--------|---|
| 事業実施期間 | 平成 26 年度～【実施中】  |
| 事業概要   | 商店街を一つの大規模商業施設とみため、アーケードの改修をはじめとする一体的整備事業を計画的に進めるほか、市と連携した事業を |

|               |  |
|---------------|--|
|               | 展開することで商店街利用者の利便性の向上を図り、商業集積と中心市街地の魅力向上を図る。  |
| 国の支援措置名及び支援期間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街まちづくり事業（中心市街地活性化事業）（経済産業省）（平成 26 年度）</li> <li>・地域・まちなか商業活性化支援事業（地域商業自立促進事業）（経済産業省）（平成 30 年度）</li> </ul>   |
| 事業効果及び進捗状況    | <p>平成 30 年 3 月のアーケード建設後に行われた定期（毎年 7 月）の歩行者通行量調査では、前年度よりも大幅な歩行者数の増加があった。また、コミュニティ活動拠点整備事業にも着手し、資材調達等に遅れが生じたものの、令和元年 6 月には完成となる予定である。</p> <p>本事業の効果は、現在のところ、新規出店は 1 件ではあるものの、今後、拠点内への新規出店等も見込まれており、新規出店者数、歩行者通行量、活動拠点利用者数への効果発現が期待される。</p> <p>（新規出店者数：直近効果値「1」／目標値「2」件）<br/> （歩行者通行量：直近効果値「0」／目標値「+48」人・日）<br/> （活動拠点利用者数：直近効果値「0」／目標値「+4,350」人・年）</p> |
| 事業の今後について     | 商店街内の店舗閉店も続き、また、長く空き店舗のままとなっている物件もあるなど、関係機関と一層の連携強化を図った空き店舗対策の実施など、集客や賑わい向上への支援を継続する。  |

⑤ 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」（会津若松市役所通り商店街振興組合）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～平成 29 年度【済】   |
| 事業概要          | 空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等を通して、回遊性・滞留性の向上、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | <p>地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度～平成 27 年度）<br/> [認定基本計画：地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度～平成 29 年度）]</p>   |
| 事業効果及び進捗状況    | <p>店舗のファサード改修事業では、通りや店舗の連続性を持たせるまでは達成できなかったものの、空き店舗を活用したテナントミックス事業や路地裏を活用したイベント事業の実施により、賑わいや回遊性の向上に寄与した。一方で、商店街内のコミュニティ施設は、利用者数が伸び悩んでいる状況である。</p> <p>（新規出店者数：効果値「7」／目標値「2」件）</p> |
| 事業の今後について     | 空き店舗を活用したテナントミックス事業の継続やコミュニティ拠点の利用促進に向けた PR 広報等を行う。  |

⑥ 空き店舗対策事業（各商店街、まちづくり団体等）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成8年度～【実施中】  |
| 事業概要          | 中心市街地内の空き店舗を活用して、商店街内の業種構成の見直しや不足業種などの再配置（テナントミックス）を行う商店街などにその賃料の一部を助成することを通して、通りや商店街の空き店舗を解消することにより、商機能の充実や「来街者の回遊性や集客力」の向上を図る。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成27年度～令和元年度）   |
| 事業効果及び進捗状況    | 官民が連携して中心市街地活性化に取り組んでいることによる効果として、平成30年度の中心市街地内での新規出店者数は「15」件（うち、補助制度利用5件。他補助制度との重複分を除く。）となっている。                                 |
| 事業の今後について     | 新規出店者数としては、良好な結果が得られる一方で、個別事情により、長く空き店舗となっている物件の影響で、通り全体へ悪印象を持たれることがあり、対策・検討が必要となる。  |

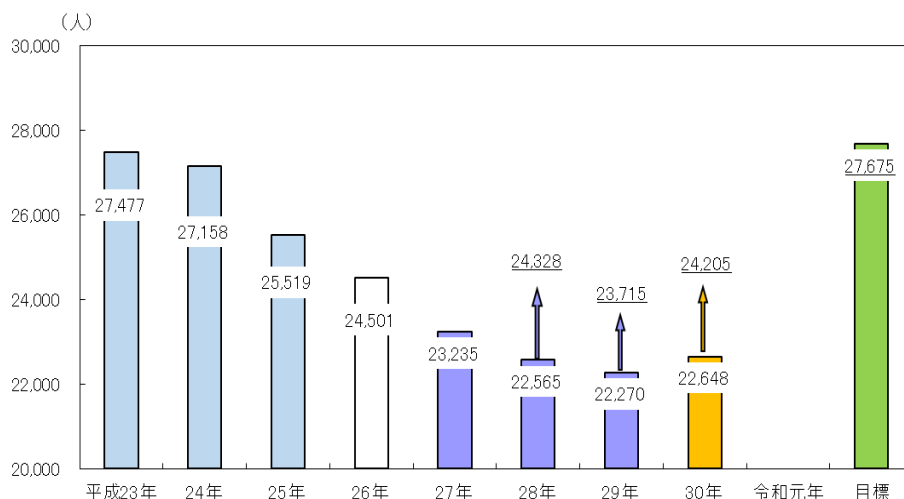
●目標達成の見通し及び今後の対策

「歴史的建造物を活かしたまちなか賑わい拠点づくり事業」、「空き店舗対策事業」、「創業支援事業」等により、出店増が大きく発現しており、今後も、商店街へのコミュニティ拠点整備による出店者増加も見込まれており、計画期間内の目標達成の可能性は高い。

なお、効果が発現していない「会津版家守事業」や「商業施設改修整備事業」の取組については、専門アドバイザー等を活用しながら事業実現に向けた支援を行い、更なる出店者の増加に向けて取り組んでいく。

「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P67～P74 参照

●調査結果の推移



| 年   | (人/日)            |
|-----|------------------|
| H26 | 26,151<br>(基準年値) |
| H27 | 25,129           |
| H28 | 24,328           |
| H29 | 23,715           |
| H30 | 24,205           |
| R元  | 27,675<br>(目標値)  |

※調査方法：中心市街地 15 か所、平日と休日の各 1 日、12 時間連続調査

※調査月：平成 30 年 7 月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：歩行者数（自転車含む）

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①（再掲）商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備事業 （エターナルブライダル株式会社）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 29 年度【未】  |
| 事業概要          | 空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗（約 10 件）の再誘致を進め、施設の魅力向上による訴求力を高めるとともに、隣接する神明通り商店街との「2 核 1 モール構想」により、回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし<br>[認定基本計画：中心市街地再興戦略事業費補助金（先導的・実証的事業）（経済産業省）（平成 29 年度）]   |
| 事業効果及び進捗状況    | 施設利用者向けの駐車場確保を行うなど、事業環境の整備を行った。しかし、施設本体改修に向けては、空きフロアの活用について、事業の採算性を含めた検討や企業等へのアプローチを行ってきたが進展はなかった。<br>本事業の効果として、出店者数の増加を「10 件」、歩行者通行量の増加を「2,660 人/日」と見込んでいるが、現状は、いずれも効果は発現していない。<br><br>(新規出店者数：直近効果値「0」／目標値「10」件)<br>(歩行者通行量：直近効果値「0」／目標値「+2,660」人・日) |
| 事業の今後について     | 事業の採算性も含め、有効活用に向けた検討を続けていることから、関係機関と連携し、事業実施に向けた支援を継続する。   |

### ② スマートウェルネスシティ事業（まちなか回遊促進健康づくり事業）（民間事業者）

|               |   |
|---------------|---|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】  |
| 事業概要          | I C T を活用して利用者個別の生活習慣、運動量、生体情報等のデータを蓄積し、個別指導に活用するとともに、まちなかを「歩く」ことを通した健康づくり等事業を実施し、歩行者通行量の増加のほか、参加者自身の健康増進も図る。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし<br>[認定基本計画：商業・サービス競争力強化連携事業（経済産業省）]  |



|            |  |
|------------|--|
|            | (平成 27 年度～) ]  |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>デイサービス利用者と運動教室の利用者、どちらも増加傾向にあり、まち歩き等各種健康づくり事業は順調に行われおり、計画した歩行者通行量 (+33 人/日) の増加に寄与している。</p> <p>なお、2 階へのコミュニティスペースの設置は検討中であり、効果は発現していない。</p> <p>(歩行者通行量：直近効果値「33」 / 目標値「+64」人・日)</p> <p>(活動拠点利用者数：直近効果値「0」 / 目標値「+5,625」人・年)</p> |
| 事業の今後について  | <p>運動教室等は事業が継続されるため、関係機関とも連携しながら、活用促進を図る。なお、コミュニティスペースについては、同じ通り内に既に設置された施設があるため、想定する利用者の差別化等も含めて検討が必要となる。</p>   |

### ③ (再掲) 神明通り商店街一体的整備構想事業 (神明通り商店街振興組合)

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】   |
| 事業概要          | <p>商店街を一つの大規模商業施設とみため、アーケードの改修をはじめとする一体的整備事業を計画的に進めるほか、市と連携した事業を展開することで商店街利用者の利便性の向上を図り、商業集積と中心市街地の魅力向上を図る。</p>  |
| 国の支援措置名及び支援期間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街まちづくり事業 (中心市街地活性化事業) (経済産業省) (平成 26 年度)</li> <li>・地域・まちなか商業活性化支援事業 (地域商業自立促進事業) (経済産業省) (平成 30 年度)</li> </ul>   |
| 事業効果及び進捗状況    | <p>平成 30 年 3 月のアーケード建設後に行われた定期 (毎年 7 月) の歩行者通行量調査では、前年度よりも大幅な歩行者数の増加があった。また、コミュニティ活動拠点整備事業にも着手し、資材調達等に遅れが生じたものの、令和元年 6 月には完成となる予定である。</p> <p>本事業の効果は、現在のところ、新規出店は 1 件ではあるものの、今後、拠点内への新規出店等も見込まれており、新規出店者数、歩行者通行量、活動拠点利用者数への効果発現が期待される。</p> <p>(新規出店者数：直近効果値「1」 / 目標値「2」件)</p> <p>(歩行者通行量：直近効果値「0」 / 目標値「+48」人・日)</p> <p>(活動拠点利用者数：直近効果値「0」 / 目標値「+4,350」人・年)</p> |
| 事業の今後について     | <p>商店街内の店舗閉店も続き、また、長く空き店舗のままとなっている物件もあるなど、関係機関との連携強化を図った空き店舗対策の実施など、集客や賑わい向上への支援も必要となる。</p>  |

### ④ (再掲) 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」(会津若松市役所通り商店街振興組合)

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 事業実施期間 | 平成 26 年度～平成 29 年度【済】 |
|--------|----------------------|

|               |  |
|---------------|--|
| 事業概要          | 空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等を通して、回遊性・滞留性の向上、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成26年度～平成27年度）<br>[認定基本計画：地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成26年度～平成29年度）]  |
| 事業効果及び進捗状況    | 店舗のファサード改修事業では、通りや店舗の連続性を持たせるまでは達成できなかったものの、空き店舗を活用したテナントミックス事業や路地裏を活用したイベント事業の実施により、賑わいや回遊性の向上に寄与した。一方で、商店街内のコミュニティ施設は、利用者が伸び悩んでいる状況である。<br>(新規出店者数：効果値「7」/目標値「2」件) |
| 事業の今後について     | 空き店舗を活用したテナントミックス事業の継続やコミュニティ拠点の利用促進に向けたPR広報等を行う。  |

#### ⑤ 高齢者向け住宅建設事業（民間事業者）

|               |   |
|---------------|---|
| 事業実施期間        | 平成26年度～平成27年度【済】  |
| 事業概要          | 高齢者向け集合住宅とデイサービス施設の建設。  |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし<br>[認定基本計画：スマートウェルネス住宅等推進事業（国土交通省）（平成26年度）]  |
| 事業効果及び進捗状況    | 平成27年9月から供用を開始し、サービス付高齢者住宅19床が満床であるほか、同施設内のデイサービス、リハビリ特化型運動施設の利用者により新たな層の来街が図られており、当初計画した歩行者通行量（+42人・日）増加に寄与している。<br>(歩行者通行量：直近効果値「42」/目標値「+42」人・日) |
| 事業の今後について     | 継続。   |

#### ⑥ まちなかコミュニティ機能再生事業（各商店街、まちづくり会社、民間事業者等）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成26年度～【実施中】   |
| 事業概要          | 地域の活動拠点として多くの人が集い、ふれあい、活動する場を提供し、賑わい創出を図る。                       |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成26年度）<br>[認定基本計画：地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成26年度～）] |
| 事業効果及び進捗状況    | まちなかコミュニティ施設については、市役所通り商店街以外に、会津ふれあい通り（平成26年度）、本町通り（平成27年度）、大町（平 |

|           |  |
|-----------|--|
|           | 成 29 年度)、野口英世青春通り (平成 30 年度) に整備され、供用が開始された。<br>それぞれ想定した利用人数を上回る結果となっており、市民活動の拠点として、新たな賑わい創出に寄与している。 |
| 事業の今後について | 引き続き、施設のPR・利用促進策等により、市民活動量の増大と歩行者通行量の増加が期待される。   |

### ⑦ 七日町通り門前町づくり一体的整備事業 (七日町通りまちなみ協議会)

|               |   |
|---------------|---|
| 事業実施期間        | 平成 27 年度～【実施中】  |
| 事業概要          | 通りの地域特性や歴史を織り交ぜた「門前町づくり」や空間整備を実施し、通りの魅力向上を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域・まちなか商業活性化支援事業 (地域商業自立促進事業) (経済産業省) (平成 28 年度)<br>[認定基本計画：地域・まちなか商業活性化支援事業 (地域商業自立促進事業) (経済産業省) (平成 28 年度～平成 29 年度)]  |
| 事業効果及び進捗状況    | 市民広場のオープンデッキ化や店舗のファサード改修等の実施をとおり、通りの魅力向上を続けているとともに、まちなかの観光拠点として交流人口の拡大に寄与している。<br>平成 29 年度には、七日町通り (中ノ区) に、「七日町パティオ」が完成し、起業・創業の拠点のほか、各種イベントにも活用される拠点として、新たな賑わい創出や歩行者通行量の増加にも寄与している。 |
| 事業の今後について     | 引き続き、ファサード改修等による通りの連続性の向上や魅力的な空間づくりを進めることで、歩行者通行量増加への寄与が期待される。  |

### ⑧ 特別養護老人ホーム事業 (社会福祉法人 温知福祉会)

|               |   |
|---------------|---|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】  |
| 事業概要          | 中心市街地エリア内での特別養護老人ホームの事業運営   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし  |
| 事業効果及び進捗状況    | 安心・安全なサービス提供のほか、地域交流等に積極的に取り組み、地域から必要とされる施設の運営を行っている。また、入居家族の訪問や従業員の通勤等により歩行者通行量へのプラス要因にもつながっている。 |
| 事業の今後について     | 継続。   |

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

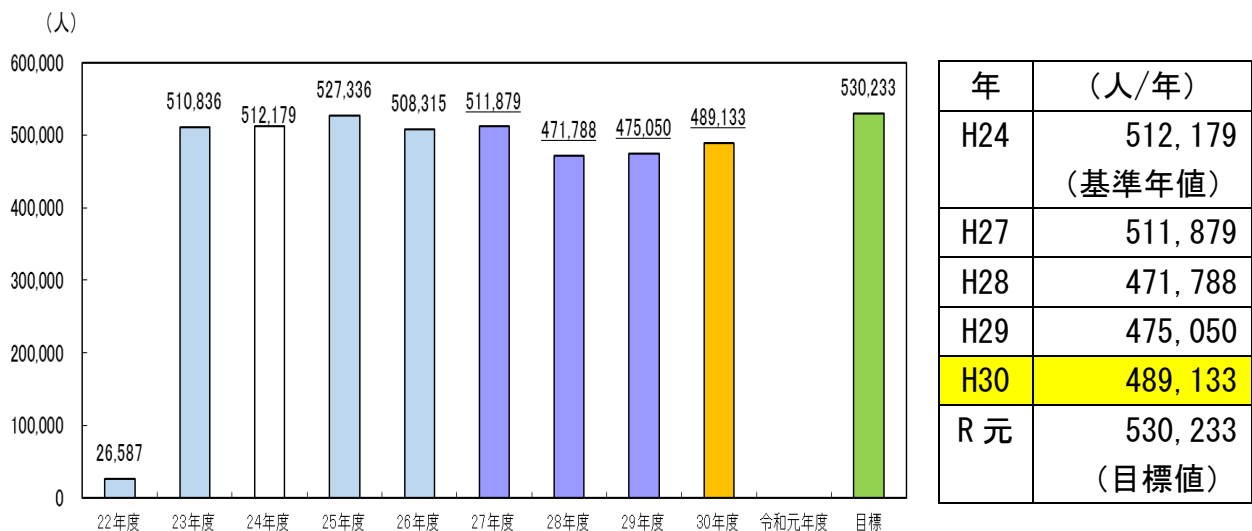
「商業施設改修整備事業」(歩行者通行量+2,660 人・日)が未着手となっていることや、地域の需要や消費者ニーズの変化、人口の減少などもあり、目標達成が難しい状況にある。

今後の対策としては、目標達成に向け、七日町通りの地域資源などを活かしたインバウンド向けの事業を新たに追加する。また、未着手となっている商業施設改修整備事業については、事業主を中心に、施設活用に向けた環境整備や入居者交渉等も随時実施しているが、具体的な改修内容、時期については未定であることから、再度、専門アドバイザー制度の活用についても検討する。

なお、平成 31 年 4 月には、ICT オフィスが開所（平成 29 年 11 月事業追加）することで、雇用やまちなか居住など新たな人の流れが見込まれておりその効果発現も期待される。

## 「活動拠点施設利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P75～P78 参照

### ●調査結果の推移



※調査方法：毎年度 3 月末日時点での数値を関係機関等に照会

※調査月：平成 31 年 4 月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：既存の主要な活動拠点施設及び新たに整備された施設の利用者数

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①（再掲）スマートウェルネスシティ事業（まちなか回遊促進健康づくり事業） （民間事業者）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】   |
| 事業概要          | ICT を活用して利用者個別の生活習慣、運動量、生体情報等のデータを蓄積し、個別指導に活用するとともに、まちなかを「歩く」ことを通した健康づくり等事業を実施し歩行者通行量の増加のほか、参加者自身の健康増進も図る。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置なし<br>[認定基本計画：商業・サービス競争力強化連携事業（経済産業省）<br>（平成 27 年度～）]  |

|            |  |
|------------|--|
| 事業効果及び進捗状況 | <p>デイサービス利用者と運動教室の利用者、どちらも増加傾向にあり、まち歩き等各種健康づくり事業は順調に行われており、計画した歩行者通行量（+33人/日）の増加に寄与している。</p> <p>なお、2階へのコミュニティスペースの設置は検討中であり、効果は発現していない。</p> <p>（歩行者通行量：直近効果値「33」／目標値「+64」人・日）<br/>（活動拠点利用者数：直近効果値「0」／目標値「+5,625」人・年）</p> |
| 事業の今後について  | <p>運動教室等は事業が継続されるため、関係機関とも連携しながら、活用促進を図る。なお、コミュニティスペースについては、同じ通り内に既に設置された施設があるため、想定する利用者の差別化等も含めて検討が必要となる。</p>   |

## ②（再掲）神明通り商店街一体的整備構想事業（神明通り商店街振興組合）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成26年度～【実施中】   |
| 事業概要          | <p>商店街を一つの大規模商業施設とみため、アーケードの改修をはじめとする一体的整備事業を計画的に進めるほか、市と連携した事業を展開することで商店街利用者の利便性の向上を図り、商業集積と中心市街地の魅力向上を図る。</p>  |
| 国の支援措置名及び支援期間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街まちづくり事業（中心市街地活性化事業）（経済産業省）（平成26年度）</li> <li>・地域・まちなか商業活性化支援事業（地域商業自立促進事業）（経済産業省）（平成30年度）</li> </ul>   |
| 事業効果及び進捗状況    | <p>平成30年3月のアーケード建設後に行われた定期（毎年7月）の歩行者通行量調査では、前年度よりも大幅な歩行者数の増加があった。また、コミュニティ活動拠点整備事業にも着手し、資材調達等に遅れが生じたものの、令和元年6月には完成となる予定である。</p> <p>本事業の効果は、現在のところ、新規出店は1件ではあるものの、今後、拠点内への新規出店等も見込まれており、新規出店者数、歩行者通行量、活動拠点利用者数への効果発現が期待される。</p> <p>（新規出店者数：直近効果値「1」／目標値「2」件）<br/>（歩行者通行量：直近効果値「0」／目標値「+48」人・日）<br/>（活動拠点利用者数：直近効果値「0」／目標値「+4,350」人・年）</p> |
| 事業の今後について     | <p>長く空き店舗のままとなっている物件が解消されないことや商店街内の店舗閉店も続いたことから、関係機関とも連携し、空き店舗対策など、集客や賑わいの創出に向けた支援を行う。</p>   |

## ③（再掲）市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」（会津若松市役所通り商店街振興組合）

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 事業実施期間 | 平成26年度～平成29年度【済】               |
| 事業概要   | 空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事 |

|               |   |
|---------------|---|
|               | 業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等をとおして、回遊性・滞留性の向上、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度～平成 27 年度）<br>〔認定基本計画：地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度～平成 29 年度）〕   |
| 事業効果及び進捗状況    | 店舗のファサード改修事業では、通りや店舗の連続性を持たせるまでは達成できなかったものの、空き店舗を活用したテナントミックス事業や路地裏を活用したイベント事業の実施により、賑わいや回遊性の向上に寄与した。一方で、商店街内のコミュニティ施設は、利用者数が伸び悩んでいる状況である。<br><br>（新規出店者数：効果値「7」／目標値「2」件） |
| 事業の今後について     | 空き店舗を活用したテナントミックス事業の継続やコミュニティ拠点の利用促進に向けたPR広報等を行う。   |

④（再掲）まちなかコミュニティ機能再生事業  
（各商店街、まちづくり会社、民間事業者等）

|               |  |
|---------------|--|
| 事業実施期間        | 平成 26 年度～【実施中】   |
| 事業概要          | 地域の活動拠点として多くの人が集い、ふれあい、活動する場を提供し、賑わい創出を図る。   |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度）<br>〔認定基本計画：地域商業自立促進事業（経済産業省）（平成 26 年度～）〕   |
| 事業効果及び進捗状況    | まちなかコミュニティ施設については、市役所通り商店街以外に、会津ふれあい通り（平成 26 年度）、本町通り（平成 27 年度）、大町（平成 29 年度）、野口英世青春通り（平成 30 年度）に整備され、供用が開始された。<br><br>それぞれ想定した利用人数を上回る結果となっており、市民活動の拠点として、新たな賑わい創出に寄与している。 |
| 事業の今後について     | 引き続き、施設のPR・利用促進策等により、市民活動量の増大と歩行者通行量の増加が期待される。   |

●目標達成の見通し及び今後の対策

これまで、中心市街地内に 5 件のコミュニティ施設が整備され、令和元年 6 月にも中心商店街内にコミュニティ拠点が完成する見込みであり、市民活動推進の一躍を担っているが、既存公共施設の利用者については、推計値を大きく下回る結果となっている。

なお、利用促進事業の実施などにより、今年度の既存公共施設の利用者数は、昨年度よりも伸びており、今後もターゲットを明確にした対策等を実施する。また、商店街等にあるコミュニティ施設同士が、事業面などで積極的な相互利用を図る取組を支援するとともに、各施設のPRも積極的に行い、利用者の増加を図る。

さらには、目標達成に向け、七日町通りの地域資源などを活かしたインバウンド向けの事業を新たに追加する。

【参考】主要事業における現状値と目標値の比較（単位：人・年）

| 主要事業              | 現状値     | 目標値     |
|-------------------|---------|---------|
| 既存施設利用者数          | 476,809 | 512,179 |
| スマートウェルネス事業       | 0       | 5,625   |
| 神明通り商店街一体的整備構想事業  | 0       | 4,350   |
| まちなかコミュニティ機能再生事業等 | 12,324  | 8,079   |
| 合計                | 489,133 | 530,233 |

※ R元年6月完成予定